

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島学園
児童・生徒数 27名
学校だより 11月号
令和6年11月25日発行

緊張場面で力が付く

校長 西田 裕之

最後に学級担任をしたのは今から9年前、6年担任だった。前の年に学年崩壊を起こしてなかなか大変だったが、この前（11か月前）の正月に、二十歳を迎えたあの子たちを見届けることができ、ほっとしたことを思い出す。いろいろあって苦しい日々だったが、そんな中でもたくさん良い思いをさせてもらった。その一つが、鹿児島市の表現運動発表会にクラスで出場したことだ。

限られた時間の中でテーマを設定して踊るのだが、表現運動をこれまでの体育の授業で、それほど一生懸命やってきた訳ではない。発表のプレッシャーをかき消すべく、子どもたちとテーマを決め、曲を編集し、ああでもないこうでもない話し合いながら、一つ一つ動きを固めていった。

いよいよ仕上げという時期に、私が子どもたちに言い続けたことがある。それは、「当日何が起こるか分からない。その時こそが、今までの練習が生かされる時だ。自分たちで考えて、その場で対応しなさい。」実際、当日初めて市民文化ホールの舞台上で演技したので、最後の最後に混乱が起きた。助けを求めるある女の子の視線を感じながらも、私は助けなかった。その子は、その場で、自分で考えて、見事に対応した。おそらく会場で見ている保護者や観客は、何が混乱だったのか、全く気付かなかったと思う。今でも私は、その時の感動をふっと思い出す。

先日の「宝の夢 文化祭」でも、私はそれを思い出した。音響トラブルがあったにもかかわらず、ほとんど動じることなく、自分たちの演技をやりきった子どもたちの姿に、私は感動した。対応力というのはこういうことだと思うし、この子たち、そして、ここまで子どもたちを育ててくれた本校の職員を、手前味噌だと承知の上で、私は胸を張って自慢したいと思う。

人間は、緊張場面でこそ力が付くし、だからこそ教育の場では、意図的に緊張場面を設定すべきだと考えている。また、型や台本など、決まったことをきちんと練習し極めること、つまり、想定内のことを徹底して鍛えることが、想定外の様々なことに対応するための力になると考えている。

島民の方々の発表や展示物も合わさり、思い出に残る文化祭となりました。本当にありがとうございました。学校としての大きな行事が一区切りとなり、今から学期末に向かいます。11月は経験上、やや落ち着きに欠けたり、目標を見失ったりしがちな月となります。学校と島民の皆様で、一緒に子どもたちを見守っていただけたら幸いです。

文化の秋の集大成 「宝の夢」文化祭

「輝く笑顔 宝の夢と希望の花咲かせ」のスローガンのもと、今年の「宝の夢」文化祭が11月3日（日）開催されました。

舞台発表では、児童生徒の発表だけでなく、有志のダンスや太極拳、スティールパンの演奏など盛り上げていただきました。展示でも盆栽や手芸の作品、婦人会のアート作品や紙飛行機など個性あふれる作品が出品され観客の皆様にも楽しんでいただけたと思います。



開会のあいさつは1年生



なかなかの音量、後期課程



いまさら園児も元気よく



1・2年生創作劇



後期課程の環境劇



太極拳で健康に



3～6年生は元気いっぱい



締めはスティールパン



個性あふれる作品



珍しい貝殻標本



児童生徒の力作



一年間の作品集も

県PTAの5つの実践 県のPTAでは5つの実践目標があります。①「家庭で温かい会話を増やそう！」②「学校教育の理解に努めよう！」③「地域で子どもたちを見守ろう」④「会員相互のコミュニケーションを深めよう！」⑤「生涯学習の実践に努めよう！」とあります。特に①家庭での会話は朝食・夕食の時間などとりやすいのではないかと思います。過ごしやすい季節です。家庭での語らいの時間を是非。

12月までの主な行事予定

- 11月24日(日)島内一周道路清掃 8:00～
- 26・27日後期課程期末テスト
- 28日(木)島内一周駅伝試走 9:30～
- 12月
- 1日(日)第31回島内一周駅伝大会
- 6日(金)授業参観・PTA
- 7日(土)ファミリー劇場(ひよっこ踊り)
- 10日(火)スクールカウンセラー来校
社会教育学級(SC 平岡先生講話)

- 14日(土)トカラ集会
スポーツレク 14:30～ 学校体育館
- 集落行事 冬の祭り
- 19日 そうまいはかい 20日 宮払い
- 21日 宮参り 全員参加 8時浜坂荘前
- 24日(火) 終業式・大掃除
- ※冬期休業 25日～1月7日